

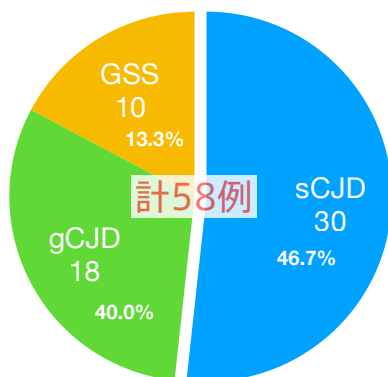
## 九州・山口・沖縄地区のプリオン病サーベイランス状況

研究分担者:九州大学病院 氏名 松下 拓也

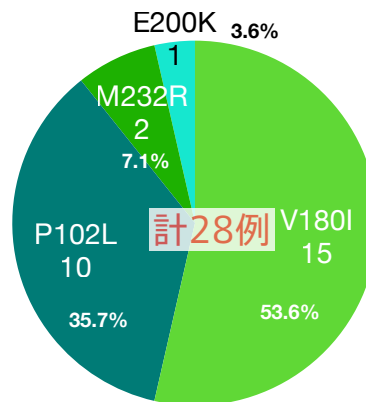
### 疾患タイプ別頻度(2017-2019)

県	調査済	孤発性CJD	遺伝性CJD	GSS	否定・その他
山口	2	1	1		
福岡	57	16	11	5	25
佐賀	10	1		4	5
長崎	0				
熊本	10	2	3		5
大分	2		1		1
宮崎	5	3	2		
鹿児島	15	5		1	9
沖縄	2	2			
<b>計</b>	<b>103</b>	<b>30</b>	<b>18</b>	<b>10</b>	<b>45</b>

#### 孤発性と遺伝子プリオン病の比率



#### 遺伝性プリオン病の遺伝子異常



### 解説

- 2018年4月から2019年9月までに九州・山口・沖縄地区の103例についてサーベイランスを行った。
- 孤発性CJDは30例、遺伝性プリオン病については遺伝性CJD18例(V180I変異15例、E200K1例、M232R変異2例)、GSS 10例(P102L変異10例)であった。  
P102L変異GSS例が多いが、高齢化を背景にV180Iの割合が高い傾向が見られる。
-